

吉野石膏

ポラテックと初のコラボセミナー

中大規模木造で需要開拓連携

吉野石膏とポラテック
(埼玉県越谷市、中内晃
次郎代表)は10日、吉野

石膏の虎ノ門ショールー
ムを会場にセミナー「中
大規模木造建築のすすめ
と木造耐火の現状と今後
の動向について」を共催
した。吉野石膏がポラテ
ックとセミナーを共催す
るのは初めて。2010年行
はる動きが顕在化してい
る

材利用促進法などを契機
に、近年、従来はRC造
やS造で建てられていた
非住宅建築物を木造で作
るが、住宅同様、規模と立
地に応じて防耐火規制の
対象となる。耐火建築に
欠かせない石膏ボード
と、中大規模木造のセミ
ナーをコラボ開催する
ことで、これから中大規模
木造建築ビジネスを拡大
させようと考える事業者
にアピールした。

セミナーは2部構成で
第1部の『中大規模木造
建築のすすめ』ではポラ
テックの担当社員が講師
となり、木造建築は同規
模のRC造およびS造の
建築物と比べ、①重量が
軽いため基礎や地盤改良

にかかる費用が抑えられ
る②工期が短く職人の人
件費を抑えられる③減価
償却期間が短く計上でき
る経費が大きいため投資
目的の物件ではキャッシ
ュフローが良くなる——
といったメリットがある
ことを説明した。第2部
の『木造耐火の現状と今
後の動向について』では
吉野石膏の担当社員が説
明。14年に木造耐火仕様
として初めて出された告
示に関する「強化せつこ
うボード」の対応商品と
して、同社には『タイガ
ーボード・タイプZ』と
『タイガーボード・タイ
プZ-WR』があり、こ
のうち『タイガーボード
・タイプZ-WR』は防
水・防カビの強化せつこ
うボードのため、4階建
て木造の耐火構造外壁の
下地材として活用されて
いる事例が紹介された。